

平成 28 年 10 月 1 日

計算プログラム 修正点 (Ver.2.0.4 → Ver.2.1)

下記の修正を行いました。

<全体>

1. PDF 出力画面のレイアウトを変更し、以下の PDF 様式を追加しました。
 - ・建築主等の判断の基準
 - ・建築物に係るエネルギーの使用の合理化の一層の促進のために誘導すべき基準
2. 特定の条件下で各設備の消費エネルギーの値が詳細画面と PDF で異なる問題を修正しました。
3. XML を連続してダウンロードすると同じファイルが複数個出力される問題を修正しました。
4. 太陽熱利用給湯設備で「面積の入力方法」を選択しても XML に出力されない問題を修正しました。
5. Internet Explorer 8 で XML の読み込みを行っても画面に反映されない問題を修正しました。
6. 英語表記に切り替え、デフォルト値で計算を行うとエラーになる問題を修正しました。
7. 英語表記に切り替えても一部項目が日本語のままである状態を修正しました。
8. API 経由で得られる計算結果に Web 画面と同様の端数処理を適用しました。
9. ヘルプの文言を修正しました。

<外皮>

10. 外皮平均熱貫流率の小数点以下の入力可能桁数を 3 桁から 2 桁に修正しました。

<暖冷房>

11. 暖房設備機器を「温水床暖房」にし、温水暖房の種類を「設置しない」にした場合にエラーが表示される問題を修正しました。
12. 一定の条件下でルームエアコン付床暖房の消費電力量がマイナスになる問題を修正しました。
13. ルームエアコン付き床暖房の配管長さの計算時に床面積が考慮されない問題を修正しました。

<給湯>

14. 給湯機の効率の上限値が 3.6 を超える場合は 3.6 に等しいものとして扱うように修正しました。
15. CO₂ ヒートポンプの JIS 効率の上限を 4.0 から 5.0 に変更しました。

以 上